

みずほマーケット・トピック(2020年6月19日)

週末版

内容 1. 為替相場の動向 2. 来週の注目材料

※誠に恐れ入りますが、「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

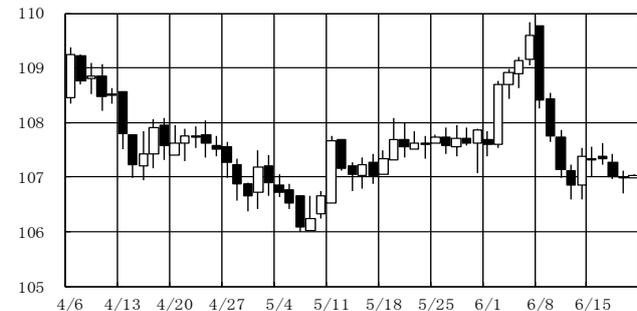
1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- ・今週のドル/円相場は後半に円高が進む展開。週初15日、107円台前半でオープンしたドル/円は、オープン直後に上昇した局面があったものの、中国や米国で新型コロナウイルス感染拡大第二波への懸念が浮上し、世界的な株安が円高圧力となって上値の重い展開。その後米国時間にかけて、NYダウ平均株価が値を戻し、FRBが米社債の広範な買い入れを開始するとの報道を受けて徐々に値を戻した。16日は、日経平均株価の上昇と日銀金融政策決定会合での資金繰り支援拡大の決定を受けて一時週高値の107.63円まで上昇。米国時間には米5月小売上高の結果が好感され再度高値に迫ったが、NYダウ平均株価の下落に伴い反落した。17日は、前半は小幅な値動きとなったが、米国での新型コロナウイルスの感染拡大に関する報道や、NYダウ平均株価の下落と米金利の低下に伴ってドル/円は107円を下抜けた。18日は、前日の流れを受けて上値の重い展開。米国テキサス州やカリフォルニア州での新型コロナウイルス感染者数拡大が連日報じられ一時週安値の106.67円まで下落した。本日は107円付近での推移が続いている。
- ・今週のユーロ/ドル相場は週半ばに安値をつける展開。週初15日、1.12台半ばでオープンしたユーロ/ドルは、英首相と欧州委員長の会談を控える中、積極的な取引は控えられた。会談後、ブレグジットの移行期間なく合意に向けて交渉を加速させるとの報道を受けてユーロ高が進み、米株高とFRBによる社債購入にかかる報道もあいまって、一時1.13台前半を付けた。16日は、前日の流れを受けて一時週高値の1.1353まで上昇したが、北朝鮮と韓国の対立激化の懸念から上昇は一服。その後も中国と米国にて新型コロナウイルスの感染拡大第二波の懸念が浮上したことでユーロ/円に連れ安となり1.12台前半まで下落した。17日は、ユーロ圏4月貿易収支をはじめ、経済指標の結果が振るわず上値の重い推移。その後も動意に乏しく、1.12台前半を推移した。18日は、米国で新型コロナウイルスの感染者増加が連日報じられたことを受けてリスクオフの動きが進み、一時週安値の1.1186まで下落した。本日は1.12付近での推移が続いている。

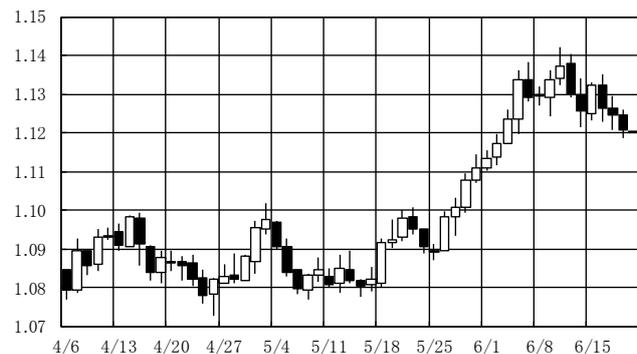
今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

		今 週				
		6/12(Fri)	6/15(Mon)	6/16(Tue)	6/17(Wed)	6/18(Thu)
ドル/円	東京9:00	106.81	107.32	107.49	107.40	106.88
	High	107.55	107.56	107.63	107.44	107.12
	Low	106.59	107.00	107.22	106.95	106.67
	NY 17:00	107.38	107.34	107.33	107.01	106.98
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1290	1.1253	1.1338	1.1265	1.1241
	High	1.1340	1.1332	1.1353	1.1294	1.1261
	Low	1.1213	1.1227	1.1228	1.1207	1.1186
	NY 17:00	1.1256	1.1323	1.1263	1.1244	1.1206
ユーロ/円	東京9:00	120.61	120.76	121.87	120.87	120.15
	High	121.81	121.60	122.08	121.19	120.53
	Low	120.33	120.35	120.47	120.17	119.60
	NY 17:00	120.88	121.52	120.90	120.28	119.92
日経平均株価	22,305.48	21,530.95	22,582.21	22,455.76	22,355.46	
TOPIX	1,570.68	1,530.78	1,593.45	1,587.09	1,583.09	
NYダウ工業株30種平均	25,605.54	25,763.16	26,289.98	26,119.61	26,080.10	
NASDAQ	9,588.81	9,726.02	9,895.87	9,910.53	9,943.05	
日本10年債	0.01%	0.00%	0.02%	0.01%	0.01%	
米国10年債	0.71%	0.72%	0.74%	0.73%	0.71%	
原油価格(WTI)	36.26	37.12	38.38	37.96	39.05	
金(NY)	1,737.30	1,727.20	1,736.50	1,735.60	1,731.10	

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- 米国では、22日(月)に5月中古住宅販売件数の発表を控える。4月は前月比▲17.8%減少し、件数ベースでは433万件(4月:527万件)と大幅に下落した。新型コロナウイルスの影響によって経済活動が縮小したことによって、単月での下落幅は2010年7月以来の大きさとなった。在庫比率(在庫件数÷販売件数)は前月の3.4か月から4.1か月に長期化した。転居に際してのリスクが意識されて供給面が滞ったことから、販売件数の減少幅の割に在庫比率の上昇が抑制された。また、販売価格の中央値は前月比+7.4%と高い上昇幅を記録した。その要因として米国で金利の低下が続く中で、新型コロナウイルスの影響下でも一定の需要が存在した一方、供給が依然タイトである点が指摘された。また、23日(火)には5月新築住宅販売件数の発表も控えているが、2013年7月以来の減少となった3月から一転して、4月は市場予想に反して前月比+0.6%と既に反動が見え始めている。ブルームバーグの事前予想では5月中古販売件数を前月比▲4.6%、件数ベースでは同▲20万件的減少を見込み、新築住宅販売に関しては、前月比+1.1%の上昇を見込んでいる。その他中銀関連では、25日(木)にエバンス・シカゴ連銀総裁、ブラード・セントルイス連銀総裁が講演に参加の予定。
- 欧州では23日(木)にユーロ圏6月PMI(速報)の発表を控える。5月総合PMIの結果は、欧州各国でロックダウンが段階的に解除されたことなどによって31.9と4月(13.9)から大幅に改善した。詳細を見ると製造業PMIが39.4(4月:33.4)、サービス業PMIは30.5(4月:12.0)となった。ただし、PMIは前月と比較して経済活動がどう変化したかという指数で、製造業、サービス業とも好況・不況の境目である50を割っていることから、5月の段階でも依然として企業活動が滞り、通常の経済活動に戻るには至っていない状況が示唆されるものとなっている。ところで、今月初めに開催されたECB政策理事会では今年のユーロ圏の成長率を前年比▲8.7%、物価水準に関しては同+0.3%の上昇に留まるとの見込みが示された。上述した景況感の低迷は、景気の回復に時間を要することを懸念するECBの見通しとも大きな乖離がないものとなったといえる。なお、ブルームバーグの予想では6月の総合PMIを43.0、製造業PMIを40.0、サービス業PMIを40.0としており、引き続き、好況・不況の境目である50を割り込むことを見込んでいる。

	本 邦	海 外
19日(金)	・4月日銀金融政策決定会合議事要旨 ・5月全国CPI	・米1~3月期経常収支(確報) ・ユーロ圏4月経常収支
22日(月)	—————	・米5月中古住宅販売件数 ・ユーロ圏6月消費者信頼感
23日(火)	・5月工作機械受注(確報) ・6月製造業・サービス業PMI(速報)	・米6月製造業・サービス業PMI(速報) ・ユーロ圏6月製造業・サービス業PMI(速報)
24日(水)	・4月景気先行CI指数(確報)	・独6月IFO企業景況感指数
25日(木)	・4月全産業活動指数 ・20年物国債入札	・米1~3月期GDP(確報) ・米1~3月期コアPCEデフレーター(確報)
26日(金)	—————	・米5月コアPCEデフレーター

【当面の主要行事日程(2020年7月~)】

ECB政策理事会(7月16日、9月10日、10月29日)
 米FOMC(7月28~29日、9月15~16日、11月4~5日)
 日銀金融政策決定会合(7月14~15日、9月16~17日、10月28~29日)
 G20財務相・中央銀行総裁会合(7月18~19日、10月15~16日)

市場営業部・金融市場部
 チーフマーケット・エコノミスト
 唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065)
daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です
<http://www.mizuuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) http://www.mizuuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2020年6月18日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2020年5月分) 香港ドル相場の現状と展望～ベッグ崩壊の現実的な可能性は～ 二番底はメインシナリオの1つとして見るべきか
2020年6月17日	29年連続「世界最大の対外純資産国」の読み解き方
2020年6月15日	週末版(EU首脳会議プレビュー～メルケル首相への花道論も～)
2020年6月12日	FOMCを終えて～当分失われそうなドル/円のボラティリティ～
2020年6月11日	米国はいずれ通貨政策に訴えかけるのか?～特権の行使～
2020年6月9日	金利上昇を容認したFRBと視野に入るYCC
2020年6月8日	週末版(ECB政策理事会を終えて～2022年末までバランスシート残高は高止まり～)
2020年6月4日	明らかにされたパンデミック緊急購入プログラムの全貌 米個人消費・所得、急変動に透けて見える日本化の胎動
2020年6月3日	週末版(ECB政策理事会プレビュー～PEPPIに孕む隠蔽リスク～)
2020年5月29日	最近の元安・ドル高相場の読み方
2020年5月27日	IMF「国際金融安定報告」続報から読み取れるもの
2020年5月26日	週末版(EU復興基金設立の現状と展望～立ちはだかる「新ハンザ同盟」の壁～)
2020年5月22日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2020年4月分) コロナショックは反グローバルの「とどめ」なのか?
2020年5月20日	アフターコロナの世界で定着しそうな「皮肉な株高」
2020年5月19日	週末版(マイナス金利を正当化したECB論文～「次の一手」としての深掘りを予見させるものか?～)
2020年5月15日	不安を吐露したパウエル議長とマイナス金利の足音
2020年5月14日	独憲法裁判所の判断とECB買入れ近況について
2020年5月12日	アフターコロナはインフレか?デフレか?
2020年5月8日	アフターコロナで注目したい世界の「日本化」兆候
2020年5月7日	週末版(ECB政策理事会を終えて～形骸化する政策金利と「次の一手」～)
2020年5月1日	日銀金融政策決定会合を受けて～同調圧力への対応～
2020年4月28日	週末版(原油急落に感じる株・為替市場との差異～原油に「ごまかし」は効かず～)
2020年4月24日	拡張財政と「ドルの信認」～目先の下落は濃厚か?～
2020年4月22日	資本逃避スピードはリーマンショックの倍に～IMF報告～
2020年4月21日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2020年3月分) 週末版(「The Great Lockdown」で最も傷が深いのは欧州か?～IMF世界経済見通し～)
2020年4月17日	ECBの「次の一手」はYCCも視野に～工夫も必要～
2020年4月15日	「超リスクオフ」から「リスクオフ」へ～改めて米金利を意識へ～
2020年4月14日	週末版(明らかになったECB資産購入の実情～このペースではあと半年が限度～)
2020年4月10日	英国のEU離脱はどこへ～移行期間は延長不可避の情勢～
2020年4月9日	「金利差なき世界」のあるべき視座～big picture～
2020年4月7日	「悲観の極み」の中で「光」をどう見出すべきか
2020年4月6日	週末版(「令和元年度 企業行動に関するアンケート調査」を受けて～かすかに暗雲漂う円相場～)
2020年4月3日	今でも「危機対応のフロントランナー」の日銀
2020年4月2日	過去最大のスタートダッシュを切ったECB
2020年4月1日	ドル高の裏にある新興国通貨安～半分はメキシコ由来～
2020年3月30日	週末版(EUが直面する「第三の危機」～債務、難民そして疫病へ～)
2020年3月27日	EUに楔を打ち込む中国～マスク外交と侮れず～
2020年3月26日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2020年2月分) リスクシナリオも繰り直し～日米金利差逆転というリスク～
2020年3月25日	「ドル化する世界」と新興国通貨の選別
2020年3月24日	「08年型のドル高」と円の「2大ステータス」
2020年3月23日	週末版(踏み込んだECB、パンデミック緊急資産購入プログラム～「抜かざるの宝刀」も抜かれるのか?～)
2020年3月19日	FOMCレビュー～「不要不急で自減」は予定通り?～
2020年3月18日	ECB政策理事会レビュー～胆力と失望の狭間～
2020年3月17日	週末版
2020年3月13日	ECB政策理事会プレビュー～実質的なデビュウ戦～
2020年3月11日	日銀の「次の一手」を考える～GPIFとの共同戦線は?～
2020年3月10日	ドル安相場の当然の帰結～疫病は契機に過ぎず～
2020年3月9日	週末版
2020年3月6日	欧州難民危機再び?～「見えない脅威」と「見える脅威」～
2020年3月5日	不要不急の利下げで自減したFRB
2020年3月4日	各国政府・中銀の政策協調姿勢を受けて
2020年3月3日	最速通貨に返り咲いた円～年初末変化率がプラスに～
2020年3月2日	週末版(メインシナリオに関するリスク点検～疫病リスク、米利下げ、円高～)
2020年2月28日	健在だった「安全資産としての円買い」と加速する悲観
2020年2月27日	週末版(急避されるユーロ～通貨安政策として先鋭化するマイナス金利政策～)
2020年2月21日	円急落は「日本売り」の結果なのか?
2020年2月20日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2020年1月分) 危機モードが続く為替市場と無国籍通貨「金」の上昇 ユーロ圏経済の現状～中国とユーロ圏が風邪を引くと・・・
2020年2月19日	週末版
2020年2月18日	それほど信頼できない「3月円高説」の実情
2020年2月14日	流動化し始めたドイツ政局～メルケル退陣まで1年半余り～
2020年2月13日	良好な雇用統計が浮き彫りにした市場の「甘え」
2020年2月12日	週末版(上がりそうにない原油価格～3つの理由と共にドル/円相場への含意を考える～)
2020年2月10日	改善が続く企業マインドをどう読むべきか
2020年2月7日	債券相場の現状と展望～遠すぎる物価「2%」～
2020年2月6日	プレグジットQ&A～アイルランド問題から漁業権問題へ～
2020年2月4日	週末版
2020年2月3日	FOMCを終えて～新型肺炎リスクと減速軌道の米国～
2020年1月31日	メインシナリオに関するリスク点検
2020年1月30日	デジタル通貨を巡る4大勢力～群雄割拠を読み解く～
2020年1月29日	疫病リスクと金融政策への影響などについて
2020年1月28日	週末版(ECB政策理事会を終えて～やや先走り感のあるラガルド総裁～)
2020年1月27日	日銀金融政策決定会合～「政熱経冷」という運～
2020年1月24日	ECB政策理事会プレビュー～底打ち機運に乗り静観～
2020年1月22日	米大統領選挙と為替～潜む一抹の不安～
2020年1月21日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年12月分) 週末版
2020年1月17日	「1998～99年」との違いはどこにあるのか～その②～
2020年1月15日	中国の為替操作国認定解除を受けて～ドル売り介入の催促～
2020年1月14日	週末版(「調達通貨は円よりユーロ」の答え合わせ～中東リスクを前に～)
2020年1月10日	予防的利下げの成否～「98年型利下げ」と「99年型利上げ」～
2020年1月9日	軍事衝突と原油高への考え方～円高は不幸中の幸いか?～
2020年1月8日	2020年、レンジ脱却に必要なもの～その②～
2020年1月6日	2020年、レンジ脱却に必要なもの
2019年12月25日	2020年、レンジ脱却に必要なもの